

■子ども森林インストラクター推進プロジェクト「第3回しめ飾り作りと火起こしで焼き芋」

日時：12月26日（土）10：00～15：00 場所：南足柄市 森林公園「丸太の森」

参加者：合計24名（JFIK & 地元スタッフ：10名、小学生10名（小3～6）、付添い保護者1名+乳幼児3名）

本日は天候にも恵まれ、すがすがしい空気の中プログラムを実行することができた。朝挨拶後、各班に分かれキャンプ場を目指した。第1回の時と違う道を通ることで、吊り橋に心が躍る様子や、フユイチゴ等を発見、採取し、興味をもつ姿が見られた。

キャンプ場につくとしめ飾り作りに挑戦。班ごとにリーダーがしめ飾りの意味、由来を説明しながら手順を子ども達に伝えており、完成に近づくにつれ、参加者にとってしめ飾りが身近になっていきながらの活動になった。参加者はしめ飾りを巻く向きに苦戦しながらも、「これはどうしたらいいの？」と時にリーダーの手を借りながら自分のしめ飾りを完成させていった。全ての参加者がしめ飾りを作ることが出来た。



しめ飾り作りの様子



しめ飾り作りの様子 その2

昼食後は第1回のリベンジを果たすべく、火起こしにとりかかった。リーダーが声をかけるとすぐに集まり、自ら進んで火口となる麻ひもをほぐし始め、火起こし器の準備を始める様子があった。火起こしも参加者同士で、協力しながら行う姿が見られ、第1回の経験が活かしていると感じられた。結果、全ての班で火起こし成功。「今日はすぐに火起こせよ！」「急に火が起きてびっくりした」と、誇らしげな表情で達成感を得ている様子であった。「スギは燃えやすいから集めよう」など、参加者の気づきを取り入れながら落ち葉焚きは進んだ。各班概ね30分ほどで焼き上がり、こんがりとした焼きた焼き芋に「美味しい」と声を上げながら舌鼓を打っていた。焼き芋は少々固かったものもあったが、これも参加者にとって印象ある、良い思い出の1つとして残ったと思われる。



火起こしの様子



火起こしの様子2

帰り際には、迎えにきた保護者にしめ飾りを見せながら今日のことを話す参加者。本日は当日キャンセルが出たこともあり想定よりも少ない人数であったが、ゆったりした空気の中で、参加者自身気づきや発見を通して、体験活動の中で各々のびのびと自然を味わった1日であった。



焼き芋はうまい！



しめ飾りを持って集合